

令和6年度大垣市市民活動助成事業 総合評価審議結果表

1 市民活動助成（まちづくり活動部門）（助成率：2/3、助成金の上限：250,000円）

| No. | 団体（協働担当課） | 代表者 | 事業名 | 事業内容 | 申請額 | 審査点数 (平均点) | 審議会からの意見 |
|-----|---|-------|--|---|---------|-------------------|--|
| 1 | かみいしづシルバ ーキッチン 「悠楽あいあい庵」 (上石津地域事務所 地域政策課) | 杉田 邦隆 | 「かみいしづ シルバーキッ チン」～美味 しい食事でい きいきライ フ!～ | 高齢者の孤独・孤立を防ぐと ともに、健康増進及び介護予防を 図るため、栄養価の高い食事と 利用者同士の交流の場を提供 する「シルバーキッチン(高齢 者向け食堂)」を運営する。 | 250,000 | 120/150 (4.00) | 【採択】 ・今後も継続的に活動できるよう、フードバンク の活用や企業からの協賛金、調理スタッフのボ ランティア募集、近隣学校との連携等をご検討 いただきたい。 |
| 2 | 特定非営利活動 法人 大垣おやこ劇場 (文化振興課) | 奥村 紀子 | こども舞台芸 術フェスティ バルin おおがき | 子どもたちや市民に舞台芸術 の楽しさや魅力を伝え、文化体 験の広がりを持たせるため、舞 台芸術に関する講演会・歌のワ ークショップや、様々な分野の 舞台芸術10作品を鑑賞する、こ ども舞台芸術フェスティバル を開催する。 | 250,000 | 121/150 (4.03) | 【採択】 ・財政的に負担額は大きいですが、今後も継続的に開 催できる方法をご検討いただきたい。 |
| 3 | ぎふ絵本づくりの 会 (文化振興課) | 早川 弘一 | 手づくり民話 かるた大会 | むかし話の物語を知り、カード ゲームのかるたを楽しんでも らうため、むかし話の紙芝居か ら短文化して制作した手づく り民話かるたを使用し、民話紙 芝居とたかるた大会を開催す る。 | 250,000 | 93/150 (3.10) | 【不採択】 ・事業目的が不明確であり、これまでの事業実績 も踏まえ、参加者が限定的になる懸念があると 判断しました。 |

2 市民活動助成（SDGs推進事業部門）（助成率：2/3、助成金の上限：250,000円）

| No. | 団体（協働担当課） | 代表者 | 事業名 | 事業内容 | 申請額 | 審査点数 (平均点) | 審議会からの意見 |
|-----|---|-------|---|--|---------|-------------------|--|
| 1 | 上石津まちづくり 協議会 (上石津地域事務所 地域政策課) | 阿藤 昭博 | 上石津時水力 発電所と炭焼 きを通じて里 山の地域資源 を学ぶ | SDGsへの関心を高め、持続可能な社会の構築を目指すため、地域資源の活用と上石津町時山地区の伝統文化である時山炭を紹介する学習会を開催する。また、企業と連携して再整備する時水力発電所完成見学会と炭焼き施設の現地見学を実施する。 | 130,000 | 123/150 (4.10) | 【採択】 ・見学場所が山間地であり、車による送迎もリスクがあるため、安全対策を徹底したうえで、行事保険等に加入していただきたい。 ・循環型エネルギーを活用した先進事例であるため、有料で見学ツアー実施やパンフレット配布等を検討いただき、今後の地域活性化につなげていただきたい。 |
| 2 | おおがき子ども 未来カレッジ (環境衛生課) | 富田 啓子 | 自然から学ぶ ～ものづくり・まちづくりプロジェクト～ | 地球の歴史、自然界の偉大な力と可能性を学び、体験することでモノづくりや、まちづくりに活かす方向性を考えるきっかけとするため、子どもから企業や農業従事者を対象とした、専門家のワークショップを3回開催し、真のSDGs社会とは何かを学ぶ。 | 250,000 | 112/150 (3.73) | 【採択】 ・小・中学生や高校生への周知を図るため、チラシだけでなくSNSなども有効活用していただきたい。 ・上石津で開催する講座については、子どもだけでは移動できないため、親子参加とするか、バスを手配するか等を含め、実施方法をご検討いただきたい。 |
| 3 | 特定非営利活動 法人 大垣市ダンススポ ーツクラブ (高齢福祉課) | 河合 信城 | 人生100年時 代への挑戦 | 足腰を鍛え、自己表現する楽しさや喜びを感じてもらうことで、生活習慣病や認知症の予防、健康の維持・増進につなげるため、健康運動指導士による健康体操、健康ダンス講座を開催する。 | 207,300 | 94/150 (3.13) | 【採択】 ・市役所からの連絡が電子メールやファックスを通じてできるようにしていただきたい。 ・参加者数20人を目指し、広報活動に尽力していただきたい。 |

【審議会からの総評】

- ・予算書に行事保険が抜けていた団体が多かったため、事業計画書と予算書と照らし合わせて内容確認を行ってください。
- ・継続して活動できるよう、今後を見据えた活動を行ってください。